

施設名	水ノ子島灯台(みずのこじまとうだい)								
所在地	大分県 佐伯市鶴見								
管理者等	佐伯市鶴見振興局								
施設種類・分野	航行	灯台							
施設概要 (明治期との関連含む)	九州本土より14.5km沖の、豊後水道のほぼ中央にそびえ立つ灯台。島の周囲 320m、灯台の高さ 39.25m、海水面から灯火までの高さは 56.3m。明治期に建設された石造りの灯台として、歴史的価値の高い保存灯台として指定。完成は明治36年、初点灯は明治37年 3月20日、光到達距離は37km。当時の灯台としては、東洋一の到達距離。平成14年に耐震工事、平成15年には太陽光発電と波力発電のハイブリッド電源システムを備え、今でも船舶の航海安全に寄与。(文献1から引用)								
築造時期	明治後期	時期詳細	明治36年						
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	現在は完全自動化され、無人となっているが、昭和28年までは、交代で灯をともしていた。吏員退息所として作られた洋館は現在灯台に関する資料や渡り鳥の剥製を展示する「水ノ子島海事資料館・渡り鳥館」となり、国の登録有形文化財に指定。(文献2から引用) 灯台守たちを題材にした映画「新・喜びも悲しみも幾歳月(1986年)」のロケ地。(文献1から引用)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	-
		その他の指定・認定	明治期灯台(海上保安庁)、日本の灯台50選(海上保安庁)						
その他 (関連資料、文献)	文献1: 佐伯市観光大百科 水ノ子島灯台 http://www.yappa-saiki.sakura.ne.jp/saiki-kankou/miru/cat52/post_119.html 文献2: 佐伯市観光大百科 THE 裏ダイジェスト(パンフレット) http://saiki-kankou.com/wp-content/uploads/2016/03/浦エリアGB_第2版03.pdf								
管理者等のHP (URL等)	佐伯市観光協会 佐伯市観光大百科 http://www.yappa-saiki.sakura.ne.jp/saiki-kankou/miru/cat52/post_119.html								